

防災意識の高揚～津波災害に備えて②～

県内における津波の想定

南海トラフ地震が発生した場合は、本県南部の沿岸部にも津波が襲来します。

また、日本海沖の海底活断層で地震が発生した場合には、日本海沿岸部にも津波が襲来し、兵庫県に近い海底活断層で発生すると、1 mの水位上昇までの時間が10分程度と非常に短いことから、強い揺れを感じた場合には、直ちに避難行動をとることが重要です。

「津波標識」の確認

津波の危険がある場所には、津波が襲来する危険があることを示す「津波注意」のほか、津波避難場所や津波避難ビルを示す津波標識が設置されています。

万一来臨、海の近くにいるときには必ず確認しておきましょう。

また、最寄りの津波避難場所や津波避難ビル、高台などへの経路を確認しておきましょう。

【 津 波 標 識 】



津波注意



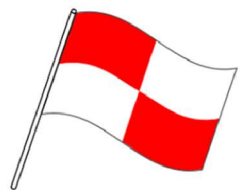
津波避難場所



津波避難ビル

参照：日本標識工業会

【 津 波 フ ラ ッ グ 】



津波フラッグ

「津波フラッグ」は大津波警報、津波警報、津波注意報が発表されたことをお知らせする旗です。

津波警報等は、テレビやラジオ、携帯電話、サイレン、鐘等、様々な手段で伝達されますが、令和2年6月から海水浴場等で「津波フラッグ」による視覚的伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。

海水浴場や海外付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

参照：気象庁

とるべき行動

【津波警報・注意報が発表されたら。。。】

「より高いところ」を目指して逃げよう！

- 津波はとても速いので、津波を見てから逃げたのでは間に合いません。
- 津波は海の深いところでは、ジェット機ぐらいの速さで襲ってきます。
- 「車で逃げれば大丈夫」と思ってませんか？
渋滞などにより、円滑に避難できない恐れがあります。
原則、徒歩で避難しましょう。

避難所ではなく目指すところは「避難場所」！

- どこで津波の被害に遭うかわかりません。
お住まいの地域や旅行先の「津波の避難場所」を確認しておきましょう。
- 避難経路やいざという時の行動などを家族やまわりの人と話し合っておくことが大切です。

【気象庁資料参照】